

じゃおニュース関係者会議議事録

参加者

日時：2023年8月31日（木）10:00～11:15 Zoom オンライン開催

参加者は以下の9名でした。

発行責任者：大澤様、 運営委員会じゃおニュース担当：安田様、竹内

地域じゃおニュース担当：大出様、宮澤様、原様、石井様、 運営委員、監事より：島村様、福山様

※ なお諏訪様からは事前にご意見の表明がありました。（後述しました。）

議事進行と記録：竹内 純一

会議開催の目的・じゃおニュースの目的・現状の確認

竹内より、これらについて報告しました。詳細は後述しますので、本議事録の末尾の情報をご覧ください。

検討事項（会員だより）

「会員だより」について議論し、以下の点で合意しました。

- 現在の五十音順の個別依頼は、毎月の依頼人数を減らした上で2023年12月以降も継続する。
主な理由は以下のとおりです。
 - これまで「会員だより」は会員の近況を伝える役割を果たしてきた。広く、会員に近況を伝える手段として、当面は残したい。
 - ただし、現在のように1カ月に6名ずつ執筆依頼すると、順番が回ってくるのが早くなる。このため、今後は1カ月当たりの依頼人数を減らす。具体的な人数は今後の会議で検討する。
 - 投稿を依頼されることによって、じゃおクラブへの所属意識が確保される。
- 自由投稿を始める。これによって、投稿を希望する会員の積極的な投稿を促す。ただし、自由投稿だけだと、投稿者が一部の会員に偏る可能性が考えられるので、公平性・中立性を保つためにも、個別依頼は続ける。
- 個別依頼か自由投稿であるかにかかわらず、投稿を促進するために以下を行う。
 - じゃおニュースに投稿募集の記事を掲載する。
 - 投稿を募集する際、投稿のテーマを記すことによって、記事執筆を後押しする。具体的なテーマ設定は原案を作成の上、今後の会議で決定する。（ただし、季節もののテーマを設けるなどした時、投稿が集中する可能性も考えられるので、そうしたことへの配慮も必要。）
 - 地域じゃおの世話人会等で投稿を呼び掛ける。
 - 個別依頼については、執筆者に対し3か月前に予告するなどして十分な期間を設けることが必要。
- 記事の分量について、以下の意見があった。
 - これまで「A4 1 ページ以内」というのが浸透しているが、長い記事を生む原因ともなっているので、より明確になるよう文字数で指定したほうが良い。改めて周知徹底も必要。
 - じゃおニュースは10 ページ以内に納まるほうが読みやすい。12 ページ、13 ページになると、

文章量が多い印象がある。

(ウ)「特別寄稿」があるが、会員が「特別寄稿」の意味を理解していないように思える。名称を変更するなり、改めて内容を伝えるなどして、堅苦しさを無くし、投稿を促進したほうが良い。

5. 個別依頼、自由投稿、特別寄稿（名称は変わるかもしれないが）のいずれにしても、やってみないとわからない点もあるので、まずは取り組んでみて、問題があれば改善していくのが良いのではないかと。

検討事項（活動報告）

活動報告については以下の点で合意しました。

1. 活動報告はじゃおクラブ内で行われている行事を地域じゃおを超えて告知する手段と考えられる。
2. 毎月、活動報告が書ける行事とそうでない行事があるが、地域じゃおの世話人会で話し合うなどして、活動報告を増やすように依頼する。ただし、強要しない。ポイントは以下の通り。
 - (ア)「楽しかったこと」「面白かったこと」「失敗したこと」などのエピソードを書いてもらえば面白い記事になる。
 - (イ)「四木会」（湘南）については会報の一部を編集する形で活動報告にできるのではないかと。
 - (ウ)「JAVIC」（湘南）「クラブ巳申（健康マーじゃん）」（ベイサイド）など、年度の締めの際に記事に出来るのではないかと。
 - (エ)「農園日記シリーズ」（湘南）は一つの投稿の形。農園の場合は採れた野菜を使った料理の紹介などのアイデアもある。

今後の予定

10月にもう一度同じメンバーで話し合う。内容は以下の通り。

1. 本日の話し合いに基づき、竹内が実施計画をまとめ、検討する。
2. 日程は、改めてメールにて打ち合わせる。

会議開催の目的

竹内より、本日開催の会議の目的について、以下の通りに説明しました。

じゃおニュースの会員だよりは 2023 年 11 月で五十音順の 3 周り目が終わります。2023 年 12 月以降も、現在行っている個別の会員への投稿依頼を継続するか、中止するか、判断しなくてはなりません。

これをきっかけに、会員だよりだけではなく、活動報告も含め、より良い誌面作りを目指し話し合いたいと考えています。

じゃおニュースの目的

じゃおニュースの目的について以下の 2 点を確認しました。

1. 会員にじゃおクラブの現状を共有する
2. じゃおクラブの広報に貢献する

現状の確認

じゃおニュースの現状について、竹内より報告しました。内容は以下の通りです。

まとめ

1. 会員の現状（アンケート結果と聞き取り）
 - 身近な記事に興味がある、執筆が苦手な人がある
 - 高齢化の進行で記事を執筆できない会員が増加
 - 直近 5 年間の会員の増減は、2018 年度 -7、2019 年度 -5、2020 年度 -8、2021 年度 -13 2022 年度+7 であった。2022 年度以外は新入会員の数が退会数に追いついていない。
2. 現在と同等の記事数が欲しい
 - 会員だより+活動報告で、年間約 100 本、月平均 8.3 本、10 ページ程度
 - 事務局だよりと特別寄稿を加えて、12 ページ程度
3. 記事の割合
 - 会員だよりと活動報告が、それぞれ約 45%、特別寄稿が約 10%
4. コロナの影響
 - 2020 年から 2021 年にかけて活動報告記事が減少

会員アンケートについて（2021 年 1 月実施）

1. 身近な記事への関心が高い。
 - 「興味のある記事は何ですか」に対して 70%が「地域じゃおの活動報告」と回答。
 - 興味のある記事の上位は「地域じゃおの活動報告」（70%）>「会員だより・特別寄稿」（63%）であった。
2. 「記事の執筆を依頼されるのは負担に感じる」が 18%あった。
 - この点は会員の高齢化に伴って進展している可能性が考えられる。

記事の数（直近5年間）

	特別寄稿	会員だより	活動報告	備考
2022年	8	43	44	2022年の特別寄稿は県央の連載記事で増えた
2021年	3	49	23	コロナの影響で活動報告が減少
2020年	5	16	41	
2019年	12	42	73	コロナ禍前の活動報告数に注目
2018年	14	44	66	

過去5年の会員だよりの投稿数

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	平均
投稿数	44	42	46	49	43	45

投稿数は横ばいと思われます。

会員だよりの執筆順が回ってくる月数

	1周目	2周目	3周目
	2017/9～2020/3	2017/4～2022/3	2017/9～2020/11
月数	29カ月	23カ月	22カ月

2周目以降、順番が早く回っている。この原因は、2周目より毎月の執筆依頼の人数を5人から6人に増やしたことが大きい。この判断は「特別寄稿」の執筆依頼廃止に伴ってなされた。

地域ごとの活動報告記事

	湘南	県央	ベイサイド	多摩・田園	田園	合計
2022年	3	13	9	19	-	44
2021年	5	3	4	11	-	23
2020年	6	7	6	22	-	41
2019年	13	12	27	21	-	73
2018年	10	11	19	22	4	66

1. コロナ禍が収束したことで、行事が再開され、それに伴って活動報告が増加。
2. コロナ禍以前の2017年から2019年の平均は67本であった。2022年は当時の約2/3である。
3. 現状は、①取り上げやすい行事（街歩き・ウォーキング・サロンなど）、②工作教室・地域の行事への出展など（ボランティア及び広報的価値のあるもの）、が多い。

諏訪様のご意見

会員だより他は、もともと自由投稿でしたが、0では寂しいということで名簿順の順番制となったのでは？しかしながら毎月6人ですと2年以内（※）に順番が回ってきてしまい、前回投稿辞退した人に再度投稿依頼をする窓口としては心苦しい気持ちでいました。（形式的に淡々とこなせばそれでよいのですが）自由投稿が本来の姿ですが、0件となる確率が高くなるとか投稿数を確保したいということであれば、自由投稿+毎月の指名をせめて2～3名にして、投稿依頼の頻度を少なくするようにしていただけないでしょうか。※ 実績では22カ月～23カ月です。（竹内注）